



あなたの人生における、最大の 決断！

人生のほとんどの決断は、何かしら重要なものです。しかし、本当に重要な決断は、一つだけです。もしあなたが、この途方もなく素晴らしい決断について、さらに深く理解するためのわかりやすい手引きを探しているなら、一救いという神の無償の贈りもの一、ここから始めましょう。David J.

Swandt著、『Out of this World; A Christian's Guide to Growth and Purpose (この世から一クリスチャンの成長と目的の手引き)』より

Copyright © 2013 David J. Swandt. All Rights Reserved.

Published under license agreement by Twenty20 Faith, Inc. (USA). Not intended for resale. For more information visit:

www.twenty20faith.org

「神はあなたを天国に入れてくださるはず？」

あなたのこの地上での人生が、予期せぬ終わりを迎えた場合のことを、ちょっと考えてみてください。いぶかしさに圧倒されつつ、あなたは創造主の前に立っていることに気づきます。混乱と畏怖の念から、あなたの終の住みかがとうとうみられるという期待と興奮の思いに変わりますが、突然、入り口で止められてしまいます。神の問いかけが、あなたを突き通します。「なぜ、わたしがあなたを天国に入れてあげなければならないのか？」

あなたはへと応答するでしょうか？

ありがたいことに、私たちのひとりびとりがこの大いなる素晴らしい日を迎えたとき、神は私たちに、天国に入る前にテストを終わらせるようにとは言われません。とは言え、前述のシーンは、救いに関してより

よく理解するための大切でかつ示唆に富んだ情景を描いています。

神の問いかけに、自分がした善い行いのことを言う人もいるでしょう。別の人には教会に忠実に通ったことを言うかもしれませんし、あるいは人生で悪いことをしないように努めたことを全て並べ立てる人もいるかもしれません。これらはどのクリスチャンにとっても人生の大切な要素ではありますが、救いを保証するものではありません。この問いかけへの正しい答えは、ただ一つです。

「私はイエス・キリストを私の人生の主とし、イエスは全ての罪から私をきよめてくださいました。」

「神は永遠を思いつつあなたを造られた」

神が私たちをお造りになった時、私たちの存在を70年か80年で終わるものとしてはご計画されませんでした。神は私たちのひとりびとりに特別な目的を持っておられます。神のご計画は、私たちのこの地上でのいのちと、天での（または永遠の）いのちの両方にわたります。ヤコブの手紙 4:14には、私たちの存在のこれらの二つの側面の違いが述べられています。

「あなたがたの（地上の）いのちは、どんなものであるか。あなたがたは、しばしの間あらわれて、たちまち消え行く霧にすぎない。」ヤコブ 4:14

「いのち短し」ということを聞いたことがあるでしょうか。永遠から見れば、まったくその通りなのです。聖書はこう語っています。

「そして、一度だけ死ぬことと、死んだ後さばきを受けることとが、人間に定まっているように、」ヘブル 9:27

私たちは皆、肉体的に死にます。しかし、肉体の死は、私たちの肉体が物質的に終わりを迎えるだけであって、私たちの魂（たましい）はそうではありません。私たちの魂、あるいは体の中で生きている意識としての存在は、永遠です。私たちの魂は、肉体が死んだ後に、二つのうちどちらか一つの場所で永遠にわたって過ごします。それが、天国か、地獄かなのです。

天国は、神がおられる永遠のパラダイスです。

地獄は、神からの完全な分離です。

私たちがこの世に生を受けたことは、地上の一時的で肉体的ないのちの始まりだけではなく、地上とその後続く永遠での霊的いのちの始まりです。永遠というものに照らせば、私たちのこの地上での生涯は重要

ではないと思う人もいるかもしれませんが、それは違います。あなたの永遠をかけた運命は、実のところ、あなたが地上で過ごす間の決断によって定まります。一番重要なのは、イエス・キリストをあなたの人生の主とするという決断です。救いは、私たち全てに、イエス・キリストを通して受け取ることができるように用意されています。そして、イエス・キリストただお一人を通してのみ、私たちの運命を、永遠の神との分離から、天で永遠に神と過ごすことへと変えられるのです。イエスは言われました。

「わたしは道であり、真理であり、命である。だれでもわたしによらないでは、父のみもとに行くことはできない。」ヨハネ
14:6

私たちがこの地上で下す決断は、他の理由からも重要です。私たちが信じつつ生きる生き方が、まだイエス・キリストを自分の救い主として知らない人々の永遠の行き先に影響を与え得るからです。毎日、私たちの周りの人は、キリストのために生きる私たちの生きざまを模範として見えています。

クリスチャンとして、神は私たちのひとりびとりを、私たちの周りにいるまだ神を知らない人たちのところに天国をもたらす者として用いてくださいます。イエスは言われました。

「あなたがたは、世の光である。…そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かし、そして、人々があなたがたのよいおこないを見て、天にいますあなたがたの父をあがめるようにしなさい。」 **マタイ 5:14-16**

「全ての人に必要な救い主」

神がアダムとエバを造られたとき、神は彼らを罪のないものとして、また神との完全な関係をもつものとして造られました。創世記3章に記されているように、彼らが神の命令に背いたとき、罪が彼らのいのちに入り、さらに全人類にも入りました。ローマ人への手紙 3:23は、アダムとエバの決断が及ぼした影響の大きさを記しています。

「すなわち、すべての人は罪を犯したため、神の栄光を受けられなくなっており、……」 **ローマ 3:23**

死と、その影響力を免れる人は誰もいません。私たちのひとりびとりが、全ての人々が有罪です。その結果、私たちは皆神から離れてしまいました。私たちの罪はまた、永遠に及ぶ影響をもたらしました。

「罪の支払う報酬は死である」ローマ

6:23

アダムとエバが神に背くという決断をしたことによって、死は、彼らとその子孫の全ての人々（人類）にとって避けられないものとなりました。肉体的にも、霊的にもです。彼らが失敗を犯した後、神は決断を下さなければなりませんでした。人類に罪が入ったままに任せ、人類が滅亡に至るのか、それとも死の力から人類を救う手段を提供するのか、という決断です。感謝なことに、神は御自身の愛と恵みを究極まであらわしてくださり、御子を通して救いの手段を与えてくださったのです。

「神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。」ヨハネ3:16

「……しかし神の賜物は、わたしたちの主キリスト・イエスにおける永遠のいのちである。」ローマ 6:23

イエス・キリストなくしては、人類は肉体的、霊的な死の両方を迎えるべく運命付けられています。例外はありません。しかしキリストにある私たちには、肉体の死は待ち構えていても、霊的な死（地獄）はありません。そうではなく、私たちがこの地上を去った後に天での永遠のいのちが待っています。イエス・キリストの完全な犠牲と死からの復活を通し、私たちは罪の報酬である霊的な死を免れるのです！

「救いにおける神の分担とあなたの分担」

あなたの救いには、二つの重要な決断が一つになって含まれています。一つ目は、神がはるか昔に御子を私たちのただ一人の救い主として世に送るという、神がしてくださった決断です。二つ目は、あなたが、御子を「あなたの」救い主として受け入れるという、あなたの決断です。

「あなたがたの救われたのは、実に、恵みにより、信仰によるのである。それは、あなたがた自身から出たものではなく、神の賜物である。決して行いによるのではない。それは、だれも誇ることがないためなのである。」 **エペソ 2:8-9**

恵みは、受けるに値しない者に与えられる好意と定義されます。恵みは、救いにおける神の分担であり、神はイエス・キリストを傷もなく汚れもない完全な贈りものとい

う形で全人類に及ぶまでにその好意を与えてくださいました。十字架により、イエスは私たちの罪の罰を完全に支払ってくださいました。そして人となってきてくださった神の恵みであるイエスを通して、私たちは良い行いは何一つ求められず、また私たちが支払いをする必要がないようにしてくださいました。私たちは、救いを何かの対価として獲得することはできません。救いは、私たちが手に入れられるようにと備えてくださった神からの無償の贈りものであり、私たちの側からの支払いの必要は一切ないのです。

信仰は、物理的に見えたり触れたりできなくてもそのものの存在を確信することと定義されます。信仰は、救いにおいて私たちの側に必要とされるものであり、信仰により、自分自身の意思の表明として、イエス・キリストを自分の人生の主とすることにより、私たちの人生を神に明け渡すことを選ぶのです。信仰によりイエス・キリストを通して神の恵みを受け取ったことにより、あなたの行き先は間違いなく、神とともに永遠に過ごす天国になりました。この事実は百パーセント、確実です！

良い行いでは救いを獲得できない一方で、イエスを受け入れた後のクリスチャンとしての生き方で良い行いをすることは、重要な役割を担っています。

「わたしたちは神の作品であって、良い行いをするように、キリスト・イエスにあって造られたのである。神は、わたしたちが、良い行いをして日を過ごすようにと、あらかじめ備えて下さったのである。」エペソ 2:10

神は私たちのひとりびとりの人生に、特別な目的を持っておられます。具体的なことは、主に神とあなたとの間でわかることです。しかし、神は全ての神の子に対して、共通の目的も持っておられます。それは、私たちの信仰を良い行いを通して表すことです。それにより、私たちは、私たちの人生に対する神のご計画の大切な一端を全うできます。そして、神の愛を他の人々へと輝かせるという特権にあずかれるのです。救いは新たな始まりであると同時に終わりでもあり、喜ばしいことです。あなたは新しく造られたものであり、永遠に変えられたのです！

「変えられた人生を公に宣言する、水のバプテスマ」

水のバプテスマは、あなたが救われたことを公に宣言する大切な方法です。水のバプテスマは古い生き方が終わり、新しい生き方が始まるお祝いです。イエスは、水のバプテスマの重要さを、復活後、天に上げられる直前に、弟子たちに教えられました。イエスは言われました。

「それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施し、……」 マタイ 28:19

新約聖書を通し、信者がバプテスマを受ける話が限りなく出てきます。水のバプテスマは、バプテスマを受ける人と、それを見ている人の両方にとって重要な象徴の意味があります。水のバプテスマが公に示すものは、水の中にあなたが浸かることによって今までの生き方が終わり、水から上がる

ことで清められ、神にあって混じりけのない新しく造られたものとして、キリストにある新しい生き方を始めることです。

ルカによる福音書 3:3では水のバプテスマを「悔い改めのバプテスマ」として表現し、私たちが以前の罪の生活に背を向けたことを公に宣言することの重要性を強調しています。私たちは水のバプテスマによって救われたり罪を覆われたりはしませんが、バプテスマは私たちのクリスチャン生活の欠かせない部分です。あなたが新しく造られたこと、人生が変えられたという宣言です！この宣言をする必要のなかった人が誰かいたとすれば、それは、地上で罪のない人生を送られた、イエスでした。しかし、ルカによる福音書 3:21にはこう書かれています。

「さて、民衆がみなバプテスマを受けたとき、イエスもバプテスマを受けて……」ルカ 3:21

イエスは、私たちがイエスの示された手本に従うようにと、バプテスマを受けられました。水のバプテスマの重要性は、言い尽

くせません。もしあなたが水のバプテスマをまだ受けていないなら、受けることを優先することを考えてください。聖書は私たちが救われたことを公に宣言するようにと教えています。また、聖書を信じている教会のほとんどが、水のバプテスマを受けられる機会を設けています。イエスの手本にならうことに間違いはありません。神は、あなたが誠実に神に従ったことに対し、豊かに祝福と報いを与えてくださることでしょう！

「終わりに」

もしあなたが、あなたの人生にイエスを受け入れたことがないなら、またはかつて受け入れたことはあっても今はイエスのために生きていないなら、今日、心から誠意を持って短く祈ることで、あなたの人生をイエスに新たに捧げることができます。以下のような祈りです。

「イエス様、私は自分が罪人だということを知っています。そして、あなただけが私を罪の罰から解放してください。私の人生にお入りください。そして私を全ての罪から清めてください。私の人生の全ての面で、毎日、あなたのために生きられるよう助けてください。私の人生に入ってください、私を自由にしてください。感謝します。」

もしあなたがこの祈りを心から、イエスはお語りになったことを必ずしてくださると信じて祈ったなら、たった今、あなたは救

いを受け取り、あなたの永遠の行き先は、
いつまでもイエスと共に過ごすよう変えら
れたのです！

イエスに従う決断をされた方からのご連絡
をお待ちしております。ご連絡は以下のリ
ンクへ。

[私はイエスに従うことを決断した！](#)